

六華の心

酒田市立第六中学校
学校だより 第1号
校長 田中 学
令和6年4月11日

342名で令和6年度がスタート

4月6日（土）に106名の新入生を迎え、全校生徒342名で令和6年度がスタートしました。午前中は、新任式と始業式を行いました。新任式では生徒会代表の栄田さんのあたたかい歓迎の言葉、始業式では2年代表の須田さん、3年代表の庄司さんが、話し合い活動のグレードアップ、学習のこと、仲間づくりのことなど、具体的に頑張ることを力強く発表しました。午後からは、PTA会長、教育後援会長、各コミュニティ振興会長の皆様方のご臨席を賜り、第40回入学式を行いました。新入生呼び上げでは、体育館に響く元気の良い返事から中学校生活への決意を感じました。また、新入生を代表して山田さんが、新入生誓いの言葉を堂々と発表しました。入学式に引き続き行われた生徒会入会式では、歓迎の言葉を生徒会長の川口さんが、新入生仲間入りの言葉を兵頭さんが発表し、生徒会長から生徒会入会証が手渡されました。



入学式 校長式辞より(一部抜粋)

「思考と対話+ 温(温かさ)をキーワードに中学校生活を笑顔と活力のあるものにしよう」

「六華の心の花咲く、笑顔と活力に満ちた学校」を創ってまいりましょう。では、その時大切にしたい三つのキーワードについてお話しします。

一つ目は「思考」です。別の言い方だと「自分の頭を使って考える」ということです。これからの世の中は、自分が身に着けた知識を様々な情報と関連付けながら、今どのようなことが起こっているのか、これからどのようなことが起こりそうなのかを考えることが大切です。また、自分の置かれた状況を分析し、課題を見つけ、その解決の方法を考え、計画し実践して、新しい価値を生み出すことが求められます。是非、皆さんには、普段の授業や生活の場面で「本当にそれでいいのか」「どうしてそうなるのか」「なぜそれをするのか」「もっと良い計画や方法はないのか」など、問い直しや振り返りを行いながら、少しでも良いものに変えていこうとする営みを大事にしてほしいと思います。

二つ目が「対話」です。対話は思考するためのツールであり、対話をするためには相手が必要です。他の人と対話をすることによって、自分とは違った考え方に触れることができます。自分の考えを言葉にして相手に伝える。伝えられた相手は、その言葉をしっかり受けとめながら「同じ考えなのか」「本当にそうなのか」「もっとこうすると良くなるのではないか」など思考をする。そして、その思いを相手にしっかり言葉で伝え返す。その言葉のキャッチボールを繰り返すことで、自分の考えをまとめたり、深めたり、広げたりすることができ、自分自身の成長につながっていくのだと思います。

三つ目が、「+温（温かさ）」です。世の中には、自分と全く同じ人は誰一人いません。まして、三つの小学校から集まった、考え方、感じ方の違う仲間と一緒に生活や学習をします。だからこそ、互いの違いを理解し、尊重しながら生活をしてほしいと思います。そうすることで、他人を思いやる言動が増え、温かい雰囲気の中で安心して様々な活動ができると思います。

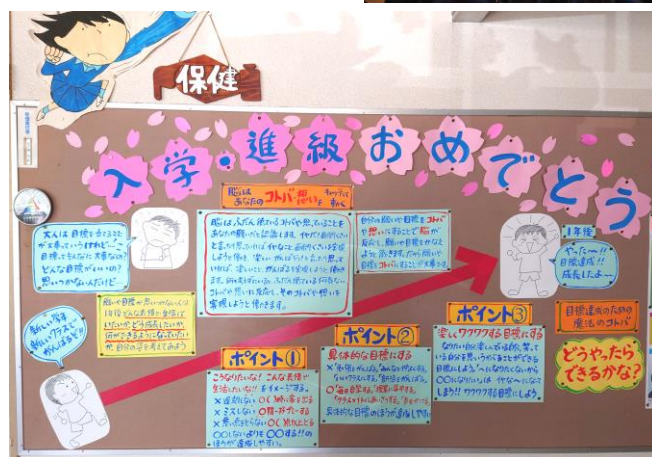
この「思考」と「対話」+「温（温かさ）」を実践し、これから始まる中学校生活が笑顔と活力に満ちたものになることを期待しています。



ともによりよい生活をしていこう

昨日9日（火）はオリエンテーション、新入生歓迎会を行いました。

オリエンテーションでは、担当の先生より学習、生活、健康面のそれぞれで、よい生活を送るためのポイントについてお話がありました。また、新入生歓迎会では、生徒会委員会と部活動（各部1分間の実演あり）について紹介されました。なお、部活動決定の部集会は22日（月）です。それまで、興味を持って取り組める部活動をしっかり選んでほしいと思います。また、新入学の歓迎と激励のため、青春応援団がパフォーマンスを交えてエールを送ってくれました。きびきびと動き、統率が取れた堂々としたパフォーマンスに感動しました。1年生は「先輩ってすごいな」と感じたに違いありません。



学校生活のスタートにあたり、昨年度との変更点を含め、改めて確認したいことについてお知らせします。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- タブレット端末は原則毎日家庭に持ち帰ります。感染症の流行などで、学年や学級閉鎖となったときは、オンライン授業を行います。また、家庭学習時に、疑問に思ったことなどを調べてみたり、まとめ直してみたりと文房具感覚で活用できるようになることを期待します。家庭で使用した後は、充電も忘れずをお願いします。
- 生活をセルフコントロールする「自律」「計画性」を養うために、生活記録ノートを毎時間持ち歩きます。授業のあとに、次の学習や単元テストなどの連絡をメモします。月の予定を立てたり、振り返ったりしながら、学習予定を含んだ生活を設計し主体的に行動します。
- 定期テストは学期に1回です。その間、各教科の単元が終了したときに単元テストを行い、どのくらい理解できているかの振り返りをします。主体的な学習に結び付けます。
- 授業のノートは、大学ノートまたはルーズリーフノートを使用します。ルーズリーフノートについては、バラバラにならないように管理をしっかりとします。
- ネームプレートは、毎朝学校に登校したら、衣服の左胸にピンで付けます。帰る際、外して学校に置いておきます。
- 毎朝登校したらカバンの中から学習用具を出し、カバンをロッカーにしまって8時15分に朝の会がスタートできるようにします。事故などに注意して余裕をもって登校しましょう。